

第45回九都県市合同防災訓練 各都県市会場の訓練概要

| | |
|------|--|
| 訓練目的 | 本訓練は、行政や各防災機関が連携した救出救助や、住民自身による避難所運営など実践的な訓練を実施するほか、減災への備えや発災時の対応に関する啓発・体験の機会を設けることで、自助・共助・公助の繋がりを強化し、地域の防災力を向上させることを目的とする。 |
| 日時 | 令和6年10月20日（日）10：00～13：00 |
| 会場 | ①メイン会場 大原中学校 ②サブ会場 大原海水浴場（津波避難訓練含む）・大原漁港 ③防災フェア いすみ市役所 |
| 規模 | 参加機関（団体） 約100機関 参加人員 約3,000名（見込み） |
| 想定 | 千葉県東方沖を震源とする地震が発生し、いすみ市では震度6強を観測した。この地震の影響により、津波警報が発表され、沿岸地域の住民は避難を余儀なくされた。その後、津波の襲来により、市内は多数の建物倒壊や道路損壊等の交通障害が発生し、自助・共助・公助による懸命な災害対応が行われようとしている。 |

| | |
|-------------|--|
| <p>訓練項目</p> | <p>① 防災フェア 防災啓発、体験コーナー、車両展示、音楽隊演奏等</p> <p>② ライフライン等応急復旧訓練 電気、ガス、水道、電話、通信等の応急復旧</p> <p>③ 救出救助実動訓練</p> <p>(1) シェイクアウト訓練</p> <p>(2) 洋上からのホイスト救助</p> <p>(3) 海上からの重機輸送</p> <p>(4) 上空からの部隊進入</p> <p>(5) 海上からの物資輸送</p> <p>(6) 市民による共助活動</p> <p>(7) 市民による初期消火</p> <p>(8) 陸上からの情報収集</p> <p>(9) 孤立地域への物資輸送</p> <p>(10) 道路啓開</p> <p>(11) 信号機応急復旧</p> <p>(12) 倒壊家屋からの救助①</p> <p>(13) 倒壊家屋からの救助②</p> <p>(14) 崖下からの救助</p> <p>(15) はしご車からの救助</p> <p>(16) 高所からのホイスト救助</p> <p>(17) 一斉放水</p> |
|-------------|--|

サブ会場

| | |
|--------------|--|
| <p>訓練項目</p> | <p>④ 応急救護訓練 (1) 一時集積場所・応急救護所の設置 (2) 医療救護 (3) 緊急医薬品等の輸送</p> <p>⑤ 避難所運営訓練・応急給水訓練 等 (1) 避難所の設置・運営 (2) ペット同行避難者の受入れ (3) 応急給水・応急給食 (4) 仮説入浴施設展開</p> <p>⑥ 災害ボランティアセンター設置運営訓練 (1) 災害ボランティアセンター設置・災害ボランティア受付 (2) 市・県ボランティアセンターとの連携</p> <p>⑦ 物資輸送訓練 (1) 物資集積拠点の設置・運営 (2) 支援物資の受入れ・払出し (注) …訓練の一部は、③救出救助訓練 (5) 海上からの物資輸送と連動して行う</p> <p>⑨ 多数遺体取扱訓練【別企画にて実施】</p> <p>⑩ 石油コンビナート等防災訓練【別企画にて実施】</p> <p>⑪ 林野火災対策訓練【別企画にて実施済】</p> |
| <p>訓練の特徴</p> | <p>① 自助、共助に主眼を置き、地域住民主体の訓練や、防災意識を高めるための普及啓発を強化し実施する。</p> <p>② 防災関係機関、行政機関の連携を強化する訓練を実施する。</p> <p>③ 地域特性を考慮し、津波避難や水難救助に係る訓練を実施する。</p> <p>④ 過去の災害の課題に対応した訓練を実施する。</p> |
| <p>問合せ先</p> | <p>問合せ先：防災対策課災害対策室 電話：043-223-2150</p> |